

繰越事由 (記号等) 一覧

繰越事由 (記号等)		
対象事由	当初計画の遂行に関し、直接又は間接的に付帯する問題点等を解決する必要が生じ、問題が解決するまで、研究を延期又は中断することが必要となった場合。	
類型	①エ 計画に関する諸条件 (計画の変更)	
	該当例	<ul style="list-style-type: none"> 研究途中に当初予定していた結果を得られないことが判明し、研究内容・方法を見直す必要が生じた場合 専門家からの指摘や他に参考とすべき資料の発見により研究方法の見直しが必要となった場合 現在の社会情勢を考慮し、研究内容の再検討する必要が生じた場合
	事由欄記入例	平成**年**月、当初予定していた〇〇で〇〇を作成する方法では、本研究に必要な濃度の〇〇が得られず、実験に用いることができないことが判明した。不十分な濃度の〇〇では、〇〇の交配を十分に行うことができないため、急遽〇〇の作成方法に改良を加え、必要濃度を達成することができたが、この作業に2カ月を要し、〇〇の交配と〇〇の検定を年度内に完了することが不可能となった。
	①キ 計画に関する諸条件 (新たな知見の発見)	
	該当例	<ul style="list-style-type: none"> 研究目的を達成するにあたり、新たな知見を優先して詳細に調べる必要が生じた場合 研究目的を達成するにあたり、他の研究グループが国内外で発表した新たな知見を検討する必要が生じた場合
	事由欄記入例	<ul style="list-style-type: none"> 平成**年**月、〇〇の実験過程において、〇〇細胞には〇〇の性質がある可能性が判明したので、それを検証するために〇〇細胞活性の評価を行う必要が生じた。 平成**年**月、〇〇遺跡において〇〇大学の調査グループにより新史料が相次いで発見された。この発見は、本研究目的の〇〇に深く関係するものであるため、新出史料の調査・研究を行う必要が生じた。
	①キ 計画に関する諸条件 (研究協力者の確保難)	
	該当例	<ul style="list-style-type: none"> 現地災害の影響により研究協力者の渡航が困難となり、調査日程を再調整する必要が生じた場合 研究協力者の都合により、研究計画の参加が困難となり、代替者の確保等のため研究計画に遅延が生じた場合 データ収集に協力いただく協力者が体調不良により予定していたデータ収集の確保が困難になり、データ解析に遅延が生じた場合
	事由欄記入例	<ul style="list-style-type: none"> 平成**年**月、研究協力者の研究員が、他大学に就職することが急遽決定し、〇〇の測定技術を有する代替者を確保する必要が生じたため、2ヶ月の遅延が生じた。 平成**年**月、候補者に精密検査を行った結果、当初の見込みよりも多くの候補者が条件に合致しないことが判明し、再度、被験者を選定し直す必要が生じたため、2ヶ月の遅延が生じた。
	①キ 計画に関する諸条件 (研究協力機関の事情)	
	該当例	<ul style="list-style-type: none"> 急激な社会情勢 (経済・治安) の悪化により研究機関の協力が当初の予定通り得ることができず、再度、日程調整を行う必要が生じた場合 共同研究を行う予定が、研究協力機関の都合により急遽延期となり、共同研究の実施に遅延が生じた場合
	事由欄記入例	平成**年**月、現地の研究協力機関である〇〇大学の都合により、現地調査を一時中断せざるをえなくなり、〇〇遺跡の調査・研究の開始に7ヶ月の遅延が生じた。

(前ページからの続き)		
類型	①キ 計画に関する諸条件 (装置の開発遅延)	
	該当例	<ul style="list-style-type: none"> 業者からの資材の納品遅延により、当初の装置開発に遅延が生じた場合 装置開発段階で想定外の不具合が発生し、計画を見直す必要が生じた場合
	事由欄記入例	平成**年**月に試作装置の性能評価を行ったところ、当初の予測に反して〇〇に関するデータが十分に得られなかったため、仕様を再検討し、検出器内の〇〇部分を改良するために、2ヶ月の遅延が生じた。
	①キ 計画に関する諸条件 (機器の故障)	
	該当例	研究協力機関に設置されている使用予定の機器が故障し、実験着手に遅延が生じた場合
	事由欄記入例	平成**年**月に、〇〇装置の〇〇の部分が故障し、メーカーで修理を行ったため、〇〇実験の準備に3ヶ月の遅延が生じた。
	①キ 計画に関する諸条件 (研究協力者の事情)	
	該当例	研究協力者のやむを得ぬ事情により、研究日程を再調整する必要が生じた場合
	事由欄記入例	平成**年**月に〇〇教授の勤務地域で大規模な地震が発生し、研究環境復旧作業のために研究打ち合わせ並びに〇〇及び〇〇による有効性の確認の開始時期に、2ヶ月の遅延が生じた。
	①キ 計画に関する諸条件 (学会の事情)	
該当例	国内外の学会の開催が、主催者等の都合により延期となり、研究成果の取りまとめに遅延が生じた場合	
事由欄記入例	<ul style="list-style-type: none"> 平成**年**月に、学会事務局の都合によりシンポジウム開催が延期されることとなり、研究成果の発表に2ヶ月の遅延が生じた。 平成**年**月に、米国〇〇学会の都合によりシンポジウムが中止となり、代替として、平成**年**月に日本で開催される同規模の〇〇学会シンポジウムに参加することとなったため、学会発表及び意見交換に2ヶ月遅延が生じた。 	
①キ 計画に関する諸条件 (怪我・病気)		
該当例	研究担当者の怪我・病気により、研究計画に遅延が生じた場合	
事由欄記入例	<ul style="list-style-type: none"> 平成**年**月に研究担当者が体調を崩して入院していたため、〇〇の遺伝子単離に2ヶ月の遅延が生じた。 平成**年**月に「〇〇の触媒の開発」を担当していた共同研究者が怪我で入院し、退院して研究を再開できるのが*月となったため、2ヶ月の遅延が生じた。 	

繰越事由 (記号等)		
対象事由	当初計画通りに研究用資材を入手することができなくなった場合。	
類型	⑥ウ 資材の入手難 (マウス等実験動物の確保難)	
	該当例	<ul style="list-style-type: none"> 実験に使用するマウスの繁殖・作成が予定通り進まなかったために、実験着手に遅延が生じた場合 遺伝子改変マウスが想定外の感染事故により使用できなくなり、当初計画に遅延が生じた場合
	事由欄記入例	<ul style="list-style-type: none"> 平成**年**月、米国〇〇大学での〇〇マウスの発育が予定通り進まなかったため、〇〇マウスの納品時期に3ヶ月の遅延が生じた。 平成**年**月に、学内の遺伝子組み替え実験施設において感染事故が発生し、実験施設をクリーン化するために、マウスの作製に5ヶ月の遅延が生じた。
	⑥ウ 資材の入手難 (資材・試料・資料の入手難)	
該当例	<ul style="list-style-type: none"> 資料提供先の都合により、遺伝子解析に必要な実験動植物の入手が困難となり、実験着手に遅延が生じた場合 原因不明の病気や環境の急変により、実験に使用する植物の入手が困難となり、計画に遅延が生じた場合 	
事由欄記入例	平成**年**月、検出器の開発に必要な〇〇解析ソフトウェアについて、製造元において製品上の問題が判明したため、納品時期に2ヶ月の遅延が生じた。	

繰越事由 (記号等)				
対象事由	当初計画の実施に際して、新たに事前調査が必要となった場合。			
類型	⑦ア 研究に際しての事前調査の困難			
	<table border="1"> <tr> <td>該当例</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 事前調査の結果を踏まえ、再度研究計画を見直す必要が生じた場合 事前調査に当初の予定以上に時間を要し、研究計画に遅延が生じた場合 </td> </tr> <tr> <td>事由欄記入例</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 平成**年**月、事前調査の結果より、〇〇地域特有の〇〇という要因により、当初予定していた調査項目では、〇〇地域での〇〇の実態を正確に把握することが困難であることが判明した。〇〇の実態を正確に把握することは、本研究の目的である〇〇〇の分析には必要不可欠であるので、調査項目の再検討が必要であると判断し、再度文献調査やヒアリングを行った。この追加の事前調査のために3カ月が必要となり、研究の年度内の完了が困難となった。 </td> </tr> </table>	該当例	<ul style="list-style-type: none"> 事前調査の結果を踏まえ、再度研究計画を見直す必要が生じた場合 事前調査に当初の予定以上に時間を要し、研究計画に遅延が生じた場合 	事由欄記入例
該当例	<ul style="list-style-type: none"> 事前調査の結果を踏まえ、再度研究計画を見直す必要が生じた場合 事前調査に当初の予定以上に時間を要し、研究計画に遅延が生じた場合 			
事由欄記入例	<ul style="list-style-type: none"> 平成**年**月、事前調査の結果より、〇〇地域特有の〇〇という要因により、当初予定していた調査項目では、〇〇地域での〇〇の実態を正確に把握することが困難であることが判明した。〇〇の実態を正確に把握することは、本研究の目的である〇〇〇の分析には必要不可欠であるので、調査項目の再検討が必要であると判断し、再度文献調査やヒアリングを行った。この追加の事前調査のために3カ月が必要となり、研究の年度内の完了が困難となった。 			

繰越事由 (記号等)				
対象事由	当初計画の研究方式に替えて、新たな研究方式を採用することが必要となった場合。			
類型	⑦イ 研究方式の決定の困難			
	<table border="1"> <tr> <td>該当例</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 経過観察等に当初の予定よりも多くの時間を要し、研究方法の決定に遅延が生じた場合 研究対象の範囲を広げ、再検討を行う必要が生じた場合 </td> </tr> <tr> <td>事由欄記入例</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 〇〇〇の解析を行った結果、対象としていた□□□が予想以上に大きく、予定していた手法では制御不可能であることが平成**年**月に判明した。この問題を解決するため、△△を分割して高速化を行い、この結果を基に手法を決定した上で、制御の高速化を行う必要が生じた。この追加解析に*カ月要することにより、年度内に研究を完了することが困難となった。 </td> </tr> </table>	該当例	<ul style="list-style-type: none"> 経過観察等に当初の予定よりも多くの時間を要し、研究方法の決定に遅延が生じた場合 研究対象の範囲を広げ、再検討を行う必要が生じた場合 	事由欄記入例
該当例	<ul style="list-style-type: none"> 経過観察等に当初の予定よりも多くの時間を要し、研究方法の決定に遅延が生じた場合 研究対象の範囲を広げ、再検討を行う必要が生じた場合 			
事由欄記入例	<ul style="list-style-type: none"> 〇〇〇の解析を行った結果、対象としていた□□□が予想以上に大きく、予定していた手法では制御不可能であることが平成**年**月に判明した。この問題を解決するため、△△を分割して高速化を行い、この結果を基に手法を決定した上で、制御の高速化を行う必要が生じた。この追加解析に*カ月要することにより、年度内に研究を完了することが困難となった。 			

繰越事由 (記号等)					
対象事由	豪雨や豪雪などの例年とは異なる気象条件により当初計画を延期又は中断することが必要となった場合				
類型	③ア 気象の関係（豪雨）				
	<table border="1"> <tr> <td>該当例</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 豪雨または小雨の影響で、観測実験が行えなかった場合 豪雨の影響で、調査対象地が災害にあった場合 </td> </tr> <tr> <td>事由欄記入例</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 平成**年**月、〇〇大学〇〇研究所のある〇〇地域において例年になく大規模な豪雨災害が起き、復旧工事のために予定通りに施設を使用することができなくなったとの連絡を受けた。〇〇の解析には大規模な〇〇施設が不可欠であり、これなしでは本研究を遂行することができない。早急に代替の施設を探したが、規模、性能面で同水準の施設が見つからず、また施設の復旧が平成**年**月に終了するとのことであったため、施設の復旧を待ち解析を行うこととしたが、このため2カ月の遅延が生じ、年度内に研究を完了することが困難となった。 </td> </tr> </table>	該当例	<ul style="list-style-type: none"> 豪雨または小雨の影響で、観測実験が行えなかった場合 豪雨の影響で、調査対象地が災害にあった場合 	事由欄記入例	<ul style="list-style-type: none"> 平成**年**月、〇〇大学〇〇研究所のある〇〇地域において例年になく大規模な豪雨災害が起き、復旧工事のために予定通りに施設を使用することができなくなったとの連絡を受けた。〇〇の解析には大規模な〇〇施設が不可欠であり、これなしでは本研究を遂行することができない。早急に代替の施設を探したが、規模、性能面で同水準の施設が見つからず、また施設の復旧が平成**年**月に終了するとのことであったため、施設の復旧を待ち解析を行うこととしたが、このため2カ月の遅延が生じ、年度内に研究を完了することが困難となった。
	該当例	<ul style="list-style-type: none"> 豪雨または小雨の影響で、観測実験が行えなかった場合 豪雨の影響で、調査対象地が災害にあった場合 			
	事由欄記入例	<ul style="list-style-type: none"> 平成**年**月、〇〇大学〇〇研究所のある〇〇地域において例年になく大規模な豪雨災害が起き、復旧工事のために予定通りに施設を使用することができなくなったとの連絡を受けた。〇〇の解析には大規模な〇〇施設が不可欠であり、これなしでは本研究を遂行することができない。早急に代替の施設を探したが、規模、性能面で同水準の施設が見つからず、また施設の復旧が平成**年**月に終了するとのことであったため、施設の復旧を待ち解析を行うこととしたが、このため2カ月の遅延が生じ、年度内に研究を完了することが困難となった。 			
③イ 気象の関係（豪雪）					
<table border="1"> <tr> <td>該当例</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 豪雪の影響で、雪崩が頻発し安全性の確保が困難な場合 豪雪の影響で、観測地域への立ち入りが困難な場合 </td> </tr> <tr> <td>事由欄記入例</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 平成**年**月に××県にて、現地調査を行う予定であったが、例年になく豪雪のため予定通りの調査ができず、現地協力機関と相談の上、*月に改めて調査を行うことにしたため年度内に研究を完了することが困難となった。 </td> </tr> </table>	該当例	<ul style="list-style-type: none"> 豪雪の影響で、雪崩が頻発し安全性の確保が困難な場合 豪雪の影響で、観測地域への立ち入りが困難な場合 	事由欄記入例	<ul style="list-style-type: none"> 平成**年**月に××県にて、現地調査を行う予定であったが、例年になく豪雪のため予定通りの調査ができず、現地協力機関と相談の上、*月に改めて調査を行うことにしたため年度内に研究を完了することが困難となった。 	
該当例	<ul style="list-style-type: none"> 豪雪の影響で、雪崩が頻発し安全性の確保が困難な場合 豪雪の影響で、観測地域への立ち入りが困難な場合 				
事由欄記入例	<ul style="list-style-type: none"> 平成**年**月に××県にて、現地調査を行う予定であったが、例年になく豪雪のため予定通りの調査ができず、現地協力機関と相談の上、*月に改めて調査を行うことにしたため年度内に研究を完了することが困難となった。 				

(前ページからの続き)

類型	③ウ 気象の関係 (風浪)	
	該当例	<ul style="list-style-type: none">・ 風浪の影響で、調査海域の安全性の確保が困難な場合・ 風浪の影響で、調査海域が悪天候となり限定された船舶しか現地へ行けず、その船舶の使用が困難な場合
	事由欄記入例	<ul style="list-style-type: none">・ ③ア及び③イを参照
	③エ 気象の関係 (その他)	
	該当例	<ul style="list-style-type: none">・ 日照時間の減少の影響で、植物が生長しなかった場合・ 台風の影響で現地調査が困難な場合・ 落雷による火災で現地調査が困難な場合・ 大規模な地震により現地の施設の使用が困難な場合・ 黄砂飛散量の増減が影響した場合
	事由欄記入例	<ul style="list-style-type: none">・ ③ア及び③イを参照